

NEWS23 週刊報告 ダイジェスト版

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：9/23～9/26

・ 9/23(月)

小泉環境相の外交デビュー、ハンガリーを公式訪問中の佳子さま、曹氏立件へ、安倍総理国連総会へなどについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、放送法の観点からは特に問題は見られませんでした。なお、小泉環境相の外交デビューについては検証者の所感を記しました。

・ 9/24(火)

気候変動サミット、海上自衛隊の観艦式に韓国海軍を招待せず、イギリス議会、日米貿易教義、トランプ大統領の一般討論演説などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、気候変動サミットについての報じ方は放送法の観点から問題と考えられる部分が見られました。

・ 9/25(水)

日米貿易協定、小泉環境大臣の発言、トランプ大統領弾劾に向けた調査、石崎議員を書類送検、安倍総理がイランのロウハニ大統領と会談、ムンジェイン大統領が米朝協議再開を呼びかけ、日韓経済人会議、佳子さまが帰国、池袋暴走事故の遺族らが国交省に要望書提出などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、放送法の観点から問題と考えられる部分は特に見られませんでした。なお、日米貿易協定、小泉環境大臣の発言については検証者の所感を記しました。

・ 9/26(木)

あいちトリエンナーレ問題、日米貿易交渉、香港問題などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、あいちトリエンナーレ問題については放送法上問題とされる報じ方が見られました。

・ 9/27(金)

今日の放送は世界陸上特集のためおやすみでした。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年9月23日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、村瀬健介、石井大裕		
検証テーマ：小泉環境相の外交デビュー、ハンガリーを公式訪問中の佳子さま 曹氏立件へ、安倍総理国連総会へ		
報道トピック一覧 <ul style="list-style-type: none"> ・茨城県で夫婦殺害事件 ・連休を襲った台風 17 号 ・小泉環境相の外交デビュー ・山梨県道志村のキャンプ上で 7 歳女兒不明 ・秋の味覚サンマに異変 ・ハンガリーを公式訪問中の佳子さま ・曹氏立件へ ・安倍総理国連総会へ ・2009 年の交通事故事件について危険運転致死に容疑切り替え ・成田空港で子どもたちがジェット機と綱引き対決 ・スポーツ報道 ・【異論反論】あなたと「#お墓」を考える ・天気予報 ・世界陸上特集 		
放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨 <ul style="list-style-type: none"> ・小泉環境相の外交デビュー：結論→特に問題なし <p>小川キャスターの「こうした異常気象の背景にある気候変動に関する国際会議がいまニューヨークで開かれています。こちら、アメリカのニューヨークにあります国連本部、今の映像なんですけれども気候変動サミットの会場の様子なんです、ちょっと暗くて画質が悪くてあまりちゃんと見て取れないんですけれども、こちらに、あ、切り替わってしまいましたね。あ、こちらに映っていますのが画面左あたりに映っていますのが小泉進次郎環境大臣ですね。今ちょっと画面がフリーズしてしまいました失礼いたしました。こちらは昨日の映像なんですけれども、大臣就任から 10 日あまりです、昨日は別の国際会議で英語でスピーチをしまして外交デビューを果たしました。」というコメントを受けて、以下に朱記した VTR が取り上げられた。</p> <p>"ナレ「特別な思いでこの地に降り立ちました。」</p> <p>小泉進次郎環境省「胸が苦しくなる街なんですよね。」</p> <p>記者「それはなぜ」</p> <p>小泉進次郎「いや、本当にね勉強大変だったしね、卒業できるかギリギリだったから。」</p> <p>ナレ「かつて学生時代を過ごしたニューヨーク、そこが外交デビューの場となりました。」</p>		

小泉進次郎「このニューヨークという街が自分を鍛えてくれた、このときの経験がなければ今はない、そう思わせてくれる特別な街ですね。」 "

"ナレ「国連本部で開かれる環境関連の会議に出席するためニューヨークを訪れた小泉環境大臣、初日の夜。」
深井慎一郎（報告）「毎日でもステーキが食べたいと話していた小泉環境大臣、初日の夜から早速高級ステーキ店です。」

ナレ「大好きなステーキを堪能。そして翌日国連本部へ。」

記者「よく眠れましたか？」

小泉進次郎「そうですね、すっごい天気がいいですね。ついてるね。」

ナレ「会場では各国の関係者と積極的に交流した小泉氏。スピーチはすべて英語で行いました。」

小泉進次郎「皆さんはじめまして、私は 10 日前に環境大臣に就任したばかりです。よろしくおねがいします。」

"ナレ「さらに、前の登壇者が持ち時間を肥えてスピーチしたことを皮肉るジョークも。」

小泉進次郎「最初にとっても大事なお知らせがあります。日本は時間を守ります。」

ナレ「そして温室効果ガス削減に向けた決意を語りました。」

小泉進次郎「今日から我々は変わります。7 都市や国々そして世界の脱炭素化に向けてともに取り組みましょう。」

ナレ「小泉氏は都市の脱炭素化が鍵を握ると主張、ただ、東京や京都など個別の自治体の例を短く紹介するのみで日本政府としての具体的な政策の低減はありませんでした。スピーチはおよそ 3 分。終了後。」

小泉進次郎「なんかね、いたく、スピーチが面白かったよと言ってきて、いろんな方がうちの街にもきてくれたとか、大事なことは日本は時間を守る、最初のあれが受けてみたいですね。」

記者「ご自身の手応えとしてはいかがでした？最初のあの」

小泉進次郎「自然体でできたと思いますよ。」 "

"ナレ「大臣としての外交デビューを自然体で臨めたと振り返った小泉氏。一方気候変動問題の解決には若者の力が必要だとしてこう、持論を述べました。」

小泉進次郎「気候変動に取り組むにはすべてが楽しくなければいけない。そしたら彼女がそれにセクシーもね、と付け足したんです。楽しく、かっこよく、セクシーであるべき。若い人が鍵となります。」 "

"ナレ「ロイター通信はこの発言を取り上げ、日本の新しい環境大臣が気候変動との戦いをセクシーにと発言した、と大きく報じました。」

小泉進次郎「日本は 1997 年に京都議定書を採択したが、それ以来リーダーシップを発揮してこなかった。」 "

ナレ「地球温暖化を防止するために先進国に二酸化炭素などの温室効果ガスの削減などを義務付け、1997 年に採択された京都議定書、」

"小泉純一郎（首相、2005 年当時）「日本は世界のセントに立って地球温暖化対策を進めてまいります。」

ナレ「発行当日、進次郎氏の父親である小泉純一郎総理が、世界に向けて先頭に立って進めていくと宣言してました。しかし、アメリカや発展途上国の多くが批准せず徐々に形骸化、日本も二酸化炭素を多く排出する石炭火力発電所への依存から抜けられず、世界から厳しい目が向けられる中、環境大臣としての手腕が問われます。」

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

"小川彩佳「この外交デビュー、小泉大臣、本当に一挙手一投足が注目されましたけれども、ロイター通信のその記事の中身を読みますと、気候変動問題をクールでセクシーにと具体策を示さず述べた、とかなりこう皮肉を込

めたような報じ方がされているんですね。」

星浩「気候変動問題とセクシーに戦うというのはちょっと意味が不明なんですけれども、あの、政策の問題ですのでね、余り修飾語と言うよりは中身をしっかりと伝えてもらいたいと思うんですね、それでなくても日本の今のCO2対策の取り組みはね、石炭火力を減らさないということを含めて批判にさらされていますのでね、その中身についてどうと入り組むかが課題だと思いますね。」

小川彩佳「あのグテーレス事務総長もあの具体的な提言を持ってきてほしいというふうに訴えていらっしゃいましたし、もう一步踏み込んだ提言だったり決意の言葉を聞きたかったなというふうに思うんですけれどもね。」

星浩「まあよく外交はですね、内政の延長だと言われるんですけどもね、やはり国内をまとめなけいと外交にもならないんですね、例えばそのCO2を減らすということになれば電力業界も鉄鋼業界も猛反対ですしね経産省も反対するわけで、そこをどうやってその説き伏せていくかということが大事だと思うんですけども、環境省というのは残念ながらそういう力があまりないものですから、小泉さんはこれからその得意の発信力で世論に訴えろとか、そういうやり方ですね、そういう全体の環境づくりを進めるべきだと思いますね。」

小川彩佳「発信力に具体的な中身が伴ってくるかということですね、はい。」

星浩「そういうことですね。」

このトピックについて当てられた時間は 463 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・ハンガリーを公式訪問中の佳子さま：結論→特に問題なし

山本キャスターの「ハンガリーを公式訪問中の佳子さまが日本語を学ぶ現地の大学生らと交流を深められました。」というコメントを受けて以下に朱記したVTRが取り上げられていた。

"大学生「(日本の大学で)最も印象に残っているのは時間割です。」

ナレ「佳子さまは首都ブダペストにある大学を訪れ日本の文学や歴史を学ぶハンガリーの学生たちが日本語で発表する授業を見学、その後学生と懇談されました。」

佳子さま「どういうきっかけでその日本の文学に興味を持たれたんですか。」

ナレ「これに先立ち訪れた日本人学校では子どもたちにみんなはなんの授業が好きですかなどと声をかけ次々にハイタッチをされる場面もありました。」

このトピックについて当てられた時間は 46 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・曹氏立件へ：結論→特に問題なし

ナレーションによって「韓国の曹国法相をめぐる家族ぐるみの不正疑惑で韓国の検察は一連の疑惑が浮上してから初めて、曹氏の自宅を家宅捜索しました。曹氏の家族が関わるフアンドや娘の進学をめぐる疑惑への曹氏本人の関与について、検察が立件も視野に直接的な捜査に入ったとの見方も出ています。曹氏は一連の疑惑への関与を明確に否定していますが、今後、立件されればムンジェイン政権にとっても大きな打撃となります。」と伝えられた。このトピックについて当てられた時間は 37 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・安倍総理国連総会へ：結論→特に問題なし

ナレーションによって「安倍総理は国連総会で一般討論演説を行うため、国連本部のあるニューヨークに向け

NEWS23 週刊報告 詳細版

て出発しました。現地ではアメリカのトランプ大統領と首脳会談に望む他、国連総会に出席するイランのロウハニ大統領とも会談し、中東情勢について話し合う予定です。アメリカとイランの対立が激化する中、安倍総理はロウハニ大統領に対話による解決を促すものと見られます。」と伝えられた。

また番組のクロージングでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

"小川彩佳「国連に世界の首脳が集結するハイレベルウィークとなっていますね。」

星浩「そうですね、この時期はね、ニューヨークはもう大混雑ですよ、警備は強化されてね、でも世界の首脳が集まっているんな問題を話す非常に貴重な機会ですので、気候変動とか中東問題など、いろんな問題に取り組んでもらいたいと思いますね。」

小川彩佳「そうですね。」

星浩「はい。」"

このトピックについて当てられた時間は 54 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・小泉環境相の外交デビュー

星キャスターが「まあよく外交はですね、内政の延長だと言われるんですけどもね、やはり国内をまとめなけいと外交にもならないんですね、例えばその CO2 を減らすということになれば電力業界も鉄鋼業界も猛反対ですしね経産省も反対するわけで、そこをどうやってその説き伏せていくかということが大事だと思うんですけども、環境省というのは残念ながらそういう力があまりないものですから」とコメントしていたが、なぜ、環境省にはそうした力があまりないのだろうか、その理由が知りたいと思った。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年9月24日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、村瀬健介、石井大裕		
検証テーマ：気候変動サミット、海上自衛隊の観艦式に韓国海軍を招待せず、イギリス議会 日米貿易協議、トランプ大統領の一般討論演説		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茨城県の一家殺傷事件で新証言 ・気候変動サミット ・宝塚市職員の就職氷河期世代限定の採用試験 ・「漫画村」運営者を逮捕 ・新潟で警察を振り切り逃走した男を逮捕 ・山梨女子捜索にドローンも投入 ・海上自衛隊の観艦式に韓国海軍を招待せず ・イギリス議会 ・日米貿易協議 ・千葉館山市で家屋調査始まる ・嵐の相葉さんが出身地の千葉に義援金 ・スポーツ報道 ・トランプ大統領の一般討論演説 ・世界陸上特集 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <p>・気候変動サミット：結論→やや問題あり</p> <p>スタジオで小川キャスターが「続いてはこちらをご覧ください、こちら、顔をしかめて訴えるこの女性はスウェーデンの環境活動家、グreta・トゥンベリさん、16歳です。ニューヨークで行われました地球温暖化を防止するための国連会議で並み居る世界のリーダーたちを前にスピーチを行いました。若者はあなた達の裏切りに気づき始めている。その声は怒りに震えていました。」とコメントした後に以下に朱記したようなVTRが取り上げられていた。</p> <p>"グreta・トゥンベリ「あなた方は私達若者に希望をたくそうとしている。よくそんな事ができますね。」</p> <p>ナレ「スウェーデンの高校生、グreta・トゥンベリさん、国連の気候行動サミットに出席し、各国のリーダーらにこうスピーチしました。」</p> <p>グreta・トゥンベリ「私達はあなた方を見ていると伝えたい。すべてが間違っています、私はここにいるべきではない。私は海の向こう側で学校に通っているべきなのです。」</p> <p>ナレ「環境活動家として運動しているグretaさんは世界のリーダーたちが温暖化対策より経済を優先していると怒りで声を震わせました。」</p> <p>グreta・トゥンベリ「あなた方は空っぽの言葉で私の夢や子供として過ごす時間を奪っています。それでも私は</p>		

運がいい方です、人々は苦しんでいます、亡くなっています。生態系は崩壊しつつあります。私達は大量絶滅の始まりにいるのです。それなのにあなた方はお金のことや経済成長が永遠に続くという夢物語ばかり、よくそんなことが言えますね。」 "

ナレ「将来を担う世代の代表として演説に立ったグretaさん、これまでも温暖化対策を求める活動で世界から注目を集めてきました、これは去年8月に始めたスウェーデン議会前での座り込みの様子。毎週金曜日は学校を休み、温暖化対策を訴えるため、活動を続けています。また、自身のツイッターでは発達障害であることを公表しています。」

"グreta・トゥンベリ（今年1月24日ガーディアン紙より）「私の脳は多少、人と異なっており、物事を白か黒で捉えています。」

ナレ「グretaさんにとって環境を破壊する気候変動の進行は黒、それなのに大人たちはなぜ問題を未来に先送りするのか、グretaさんの真っ直ぐな訴えはSNSを通じ、またたく間に拡散し注目されてきました。今回のサミット参加に当たり移動の手段に選んだのも飛行機ではなく温室効果ガスを排出しないヨット。15日間の航海を経てニューヨークに到着しました。」

グreta・トゥンベリ「感無量です、足元が震えています。私達は一緒に助け合って環境問題の解決に向け行動しましょう。今こそ立ち上がる時です・」

ナレ「こうしたグretaさんの行動が共感を生み、若者たちを中心に大きな動きが巻き怒っています。今回のサミットに合わせ、週末に気候変動の問題を訴えるための集会在世界150カ国以上で開かれたのです、参加者は合わせて400万人以上に登ると見られています。」

グreta・トゥンベリ「あなた方は事実から目を背け続け必要な政策も解決策も見えていないのに、この場に来て十分やっている何て言えるのでしょうか。」 "

"ナレ「16歳の少女に辛辣な言葉を浴びせられた各国の首脳たち、その後、ドイツのメルケル首相やフランスのマクロン大統領らが登壇し、温室効果ガスの削減に向けた具体策を表明しました。一方、気候変動問題に懐疑的で今回のサミットを欠席すると見られていたトランプ大統領、突如国連の姿を表したのです。グretaさんの直ぐ側を通り、会場入りするトランプ大統領、グretaさんは腕を組子の表情です。その後、トランプ大統領はメルケル首相らの演説を聞いていましたが、わずか10分ほどで退出。」

記者「気候変動は事実だと思いますか。」

トランプ大統領「・・・・・・」 "

"ナレ「グretaさんについては、ツイッターでこう発言しました。」

トランプ大統領（Twitter）「輝く素晴らしい未来を見据えた、とても幸せそうな少女だった、会えて良かった。」 "

"ナレ「また、日本から出席した小泉環境大臣は。」

小泉進次郎環境相「やっぱり一番響いたのはグretaさんでしたよね、How dare you(よくそんなことを言える)ですよ、あれは強烈でした。あの国連の会場にいたすべての国々の、私も含めて、みんなが、重く受け止めたんだと思います。」

ナレ「重く受け止めると話しましたが、小泉大臣が演説することはなくサミットの場で日本の姿勢を世界に打ち出すことはできませんでした。グretaさんの訴えは首脳らの心に届いたのでしょうか。スピーチの最後、グreta

さんはこう結びました。」

グレタ・トゥンベリ「私達を裏切るなら、こういいます、あなた達を絶対に許さない、と。この問題から逃れることは許しません。いまここで線を引きます。世界は目を覚ましています。あなた方が好んでもそうでなくとも変化はやってきます。」 "

VTR を受けてスタジオと中継の間で以下に朱記したやり取りが繰り返し繰り返り広げられた。

"小川彩佳「このグレタさんに共感する若者たちが欧米ではその輪を広げている、それは彼らにとって大人たちよりも遥かに環境問題が差し迫っていて、切実な問題であるからであって、決してかっこよかったり楽しかったりするからというだけではないということがよく伝わってくるようなスピーチだったように感じます。ここでニューヨークの国連前にある宮本記者に聞きます、宮本さん、グレタさんの演説は厳しい言葉が並んでいましたけれども、各国の首脳はどのように受け止めたのでしょうか。」

宮本晴代（報告）「はい、グレタさんのスピーチについてアメリカの CBS テレビはスウェーデンのティーンエイジャーが政府の代表から主役の座を奪ったと報じました、またサミットに出た、フランス、マクロン大統領は若い女性の世代に衝撃を受けた、とコメントするなど、そのインパクトについては高く評価されています。もともと欧米では若い世代中心に大きな影響力を持つグレタさんですけれども、今回演説をしたことでさらに注目を浴びることになりそうです。」 "

"小川彩佳「そうしたなかで気候行動サミットでは日本が登壇して発言するという機会は今回ありませんでしたね。」

宮本晴代「はい、今回の件について小泉環境大臣は首相や副首相までしかスピーチの機会がなかったと説明しました。これはたしかにそのとおりで国連の会議では通常、役職が高い順番にスピーチをするのが慣例となっています逆に言うと演説の機会を得たければトップが来るべきだったわけです、例えば今回、ドイツはメルケル首相が気候行動サミットで演説し、今日から行われる一般討論演説では格下の閣僚級で対応します、それだけドイツは気候変動を重視する姿勢を見せたということです。一方、サミットにトップが来なかった日本は気候変動の問題を重視していないと世界から受け止められても仕方がないと言えます。」

小川彩佳「ただでさえ批判の対象となっている日本ですから、さらに厳しい立場ということになりそうですね。」

このトピックについて当てられた時間は 580 秒だった。

スタジオでは小川キャスターが「ただでさえ批判の対象となっている日本」とコメントしていたが、このトピック中で日本が国際社会から批判の対象となっていることを示すようなシーンは取り上げられておらず、小川キャスターの抱えている印象の粹を出さないコメントであった。「批判の対象となっている日本」とコメントをするのであれば、やはり報道の中でも実際に日本が国際社会から批判されていることを示す事実であるとか、どの国が日本を批判しているのかということを示す必要があり、そうしたことを欠き事実の摘示に基づかない印象論をスタジオで一方向的に語る、という報道の構成は放送法第四条一項三号の「報道は事実をまげないですること」という点に照らして問題があると言わざるを得ない。

・海上自衛隊の観艦式に韓国海軍を招待せず：結論→特に問題なし

ナレーションによって「山村海上幕僚長は来月行われる海上自衛隊の観艦式に韓国海軍を招待しなかったことを明らかにしました。内閣総理大臣が海上自衛隊の艦隊を観閲する観艦式は三年に一度行われます。海上自衛隊

NEWS23 週刊報告 詳細版

は毎回友好国を招待しており、今回はアメリカや中国など七カ国が参加をしますが、山村海上幕僚長は韓国を招待しなかったことについて日韓関係が厳しい状況の中、防衛省、自衛隊として総合的に判断した、と述べています。」と伝えられた。このトピックについて当てられた時間は 41 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・イギリス議会：結論→特に問題なし

ナレーションによって「イギリスの最高裁はジョンソン首相が今月 10 日から 5 週間に渡って議会を閉会したことについて違法であり無効との判断を示しました。来月 30 日に迫った EU 離脱を審議する時間が奪われた、と反発していた野党側は一斉に歓迎、首相が交代したので一旦閉会するのは当然としてきたジョンソン首相にとっては打撃です。議会は日本時間、明日夜にも再開の見通しです。」とのことが伝えられた。このトピックについて当てられた時間は 35 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・日米貿易教義：結論→特に問題なし

ナレーションによって「茂木外務大臣は 23 日、アメリカのライトハイザー通商代表と新たな貿易協定の詰めに向けた閣僚級競技を行い、合意したと表明しました。協定ではアメリカ産牛肉の関税は今の 38.5%から、段階的に 9%までに引き下げる一方、現在 2.5%の日本車に対する関税は継続協議する方向で撤廃は事実上先送りされます。」と伝えられた。このトピックについて当てられた時間は 34 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・トランプ大統領の一般討論演説：結論→特に問題なし

スタジオで山本キャスターの「ニューヨークで開催されている国連総会では先程からアメリカのトランプ大統領の一般討論演説が始まりました。イランの核兵器の保有を認めないという考えをアピールしています。」というコメントをうけて以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

トランプ大統領「私が大統領になってから米国は 25 億ドル以上使って軍隊を立て直した。これまでのところもっとも強力な国になったがこの力を使わないことを望む。」

ナレ「イランとの緊張が続く中で行われた演説の冒頭、トランプ氏はこのように述べ、アメリカの軍事力を誇示しました。トランプ氏は演説前に記者団に対し、我々はイランに対し、非常に強い立場にある、と強調。サウジアラビアの石油施設への攻撃にイランが関与したというアメリカの主張に、イギリス、フランス、ドイツが追随したことで自信を深めている模様で、演説の中でもイランの核兵器の保有を認めないという考えをアピールしました。国連総会では日本時間の明日午前に安倍総理大臣の一般討論演説が予定されている他、日本時間の 26 日には日米首脳会談が行われることになっています。トランプ大統領の一般討論演説が始まっています。」

このトピックについて当てられた時間は 84 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

NEWS23 週刊報告 詳細版

検証者所感

特になし

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、村瀬健介、石井大裕		
<p>検証テーマ：日米貿易協定、小泉環境大臣の発言、トランプ大統領弾劾に向けた調査、石崎議員を書類送検 安倍総理がイランのロウハニ大統領と会談、ムンジェイン大統領が米朝協議再開を呼びかけ 日韓経済人会議、佳子さまが帰国、池袋暴走事故の遺族らが国交省に要望書提出</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日米貿易協定 ・小泉環境大臣の発言 ・茨城県家族四人殺傷事件の続報 ・フォーエバー21 が日本から完全撤退 ・トランプ大統領弾劾に向けた調査 ・山梨小1 女児不明事件 ・石崎議員を書類送検 ・安倍総理がイランのロウハニ大統領と会談 ・ムンジェイン大統領が米朝協議再開を呼びかけ ・日韓経済人会議 ・佳子さまが帰国 ・池袋暴走事故の遺族らが国交省に要望書提出 ・スポーツ報道 ・天気予報 ・千葉県台風の爪痕 ・世界陸上特集 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日米貿易協定：結論→特に問題なし <p>スタジオでの小川キャスターの「まずはこちらをご覧ください四ヶ月前にトランプ大統領が発信した Twitter なんですけれども、こんな事が書いてあったんですね。7月の日本の選挙後まで待つ、大きな成果を期待する。と。このトランプ大統領が大きな成果を期待していたのは日本との貿易協定なんです、このあと数時間後の首脳会談で合意されます、日本としては牛肉を取られ、自動車を取れない、大幅に譲歩しそうな防衛記協定なんです。一体どんな中身なんでしょうか。」というコメントを受けて以下に朱記した VTR が取り上げられていた。</p> <p>ナレ「分厚いアメリカ産牛肉のステーキ、国産の和牛に比べて脂身が少なく赤身の味が楽しめるのが特徴です、現在アメリカ産の牛肉には 38.5%の関税がかかっています。例えば、単純計算で 1000 円の牛肉は輸入した時点で 1385 円に、それが今回の協定では関税が最終的に 9%まで下げられる見通しで 1000 円の牛肉は 1090 円で輸</p>		

入できることになるのです。」

島幸久（シェフ）「アメリカ産の牛肉もいいものがいっぱいあるので、お客様のにも選択の幅が広がると思いますが、いいことですね、はい。」

"ナレ「アメリカ産牛肉が安くなる可能性があるということは、」

男性客 A「たくさん食べられるってことですか、アメリカのお肉を。めちゃめちゃ嬉しいですね。」

女性客 B「安くて美味しければそれに越したことはないと思っていますので、安ければ多分食べると思います。」 "

"ナレ「国産牛には国産牛の魅力があるもののアメリカ産牛肉が更に安くなれば日本市場を席巻するかもしれません、アメリカの畜産業者を訪ねました。」

土居一雄（報告）「広大な土地で飼育されている牛の数は 500 頭を超えています、そしてその大半が牛肉として日本へと出荷されています。」

ナレ「東京ドーム 600 個分の敷地で育てられた牛は牛肉として加工され日本に輸出されます。」

アンダーソンさん（アメリカの畜産農家）「日本が一番の輸出市場です、市場が開かれれば最終的に農家も報われる。」 "

"ナレ「関税撤廃を目指し、日本など 11 カ国が結んだ貿易協定 TPP から離脱したアメリカ。カナダやニュージーランドなど TPP 加盟国と比べて牛肉の関税が高く日本への輸入量も伸び悩んでいる現状があります、アメリカの食肉団体のトップは今回の協定でアメリカ産牛肉の関税が引き下げられれば日本に売り込むチャンスだと意気込みます。」

ホルストロム会長（食肉輸出連合会会長）「日本に輸出するアメリカ産牛肉はもっと増えると思う。アメリカの生産者には非常に良いニュースだ。」 "

"ナレ「アメリカ側が期待をふくらませる一方日本の畜産農家にとっては。」

高橋敏義さん（畜産農家）「農産物の自由化によって安い農産物がいってくるということはすごく脅威であるし。」

ナレ「アメリカ産牛肉の関税引き下げは日本の畜産農家にとって死活問題ですがなぜ日本は関税の引き下げに応じるのでしょうか。」 "

"安倍総理（去年 11 月）「農産品についてもっとも水準が高いものは TPP であると理解をしております、過去の経済連携協定が最大限。」

ナレ「争点となっていたのがアメリカの牛肉と日本の自動車です、アメリカは牛肉の関税 38.5%を最終的に TPP と同じ水準 9%まで引き下げることを求めていました。その見返りとして日本が求めているのは自動車関連の関税撤廃です。牛肉と同じく TPP の水準を適用するなら乗用車は関税 2.5%を 25 年かけて撤廃、自動車部品の関税は即時撤廃、アメリカで人気のトラックにかけられていた 25%という交換税は 30 年かけて撤廃、となるはずで、4 月に交渉が始まった途端、トランプ大統領は。」 "

"記者「日本との貿易交渉は 5 月までにまとまる？」

トランプ大統領「比較的早くまとまるだろう、私が日本に行く頃までには・・・日本で署名も可能だろう。」

ナレ「その 5 月には令和初の国賓として来日し、日本側はゴルフ、相撲、炉端焼きと大接待、すると来日のさなかトランプ大統領はこうつぶやきます。」

トランプ大統領（Twitter）「7 月の日本の選挙後まで待つ。大きな成果を期待している。」

ナレ「日本の参院選後まで合意を先延ばしする可能性を示唆。すると先月。」

トランプ大統領「我々は原則的に合意に至った、数十億ドルのもので、農家にとってはとてつもない額だ。」

安倍総理「両国にとってウィンウィンな形で進んでいることを嬉しく思う。」

ナレ「貿易交渉が大枠で合意したと発表、しかし安倍総理がウィンウィンと言っていた交渉の中身に牛肉の見返りとなる自走チャの関税引き下げは含まれない見通しです。東京大田区の自動車部品工場、ここで作られた部品はドアロックなどとなってアメリカなどへ輸出されます。」

村瀬健介（報告）「こちらの工場ではこうした製造機械の動きをコンマ一秒単位で削って、製造コストの削減に努めているんです。」

"ナレ「わずかな利益を確保するため、製造コストをギリギリまで削っているというこの会社、しかし今回の日米貿易協定はこうした自動車部品メーカーに打撃となりそうです、TPP では即時撤廃とされていた自動車部品の関税も今回の協定では先送りされることとなったのです。」

記者「2.5%というのは大きな意味が」

竹本盛也（日進工業社長）「あります、あります。それはもう企業の存続に関わる問題です。やっぱり私達も一生懸命頑張って、あれこれ工夫をして、製造原価を下げる努力はしてはいるけれどもやっぱりこれもですね、もうここまででいっぱいいっぱいだなと言うところがあるんですね。」

ナレ「まもなく日米首脳会談で最終合意される予定の日米貿易協定。結局、牛肉などアメリカの農産品については TPP の水準まで関税を引き下げること合意したものの日本が求めていた自動車関税の引き下げは撤廃が先送りされました。さらに牛肉については最低限の防衛ラインとしていた TPP 水準を超える譲歩も、アメリカから低い関税で輸入できる枠は TPP で設定されていたときよりも広がる見通しです。アメリカ向けの自動車についてもトランプ大統領は撤廃するどころか追加関税をちらつかせています。」

VTR を受けてスタジオと中継の間で以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

小川彩佳「ここで一旦合意内容を整理します、日本政府は TPP 水準を守るんだということを言い続けてきたわけですけども日本が訴えていたその自動車の部品や自動車を輸出する際の関税の撤廃については先送りということになりました。一方でアメリカが求めていた牛肉のこの輸入についてなんですけれども TPP で決めた水準通り大幅に関税が下げられるということで合意となった、こちらは日本側が大きく譲歩したということになります、この牛肉の輸入についてはさらに大きな問題があります、それは輸入量についてなんですけれども TPP の枠組みでは低い関税での輸入に上限が設けられていました、来年度についてはアメリカの分も含めて 61 万トンまでということになっているんですけれども、こんごはこれに TPP 加盟国とは別にですね、アメリカ向けに 24 万トンという別枠が設けられる見通しになっているんですね、ということは実質的に TPP の枠を大幅に超えて牛肉を輸入するということになりかねないわけです、ここでワシントン支局の土居記者に聞きます。土居さん、日本側の大幅譲歩、この裏には何があったのでしょうか。」

"土居一雄「はい、背景には日米双方の選挙事情があります。トランプ大統領は来年の大統領選の実績作りのため、早期の合意を求めました、そのため貿易交渉のさなかに安全保障を持ち出し譲歩を迫るトランプ氏はディールという手法の一つで圧力をかけ続けました、一方日本としても 7 月の参院選前に合意を強いられるのは避けたかったため日米の思惑がこのタイミングでの合意で合致しましたが、内容を見ればトランプ氏に押し込められアメリカのいいところどりを許した形です。」

小川彩佳「トランプ大統領に押し切られたと、では先行きの見通しですとか今後の焦点というのはどこになってきますでしょうか。」

土居一雄「はい、自動車に対する追加関税は発動しない、と確約できるかどうかです。トランプ氏は追加関税について現時点では考えていないが将来はありうると話していて、日本の政府関係者は追加関税の回避を明文化しない限り今後も脅してくると警戒しています。日本が大幅に譲歩をただけに追加関税の回避も確約できなければアメリカのご機嫌を取るためだけの交渉だったと言わざるを得ません。さらに協定が WTO のルールに違反する可能性があるとの指摘も出ています。二国間で貿易協定を結ぶ場合、WTO のルールではお互いの関税の撤廃率は通常、90%以上とされています、しかし日本車の関税撤廃が事実上先送りされるため撤廃率は70%前後になると見られます、日本政府は自動車の関税について引き続き協議をし撤廃すると書き込むことで将来的に撤廃するので WTO 違反ではないと説明する方針です。ただ、自由貿易の旗手を果たすと強調してきた日本が WTO 軽視とも取られかねない協定を結ぶことで世界からは厳しい目が注がれることになりそうです。」

"小川彩佳「まもなく首脳会談で合意ということになりますけれども、トランプ大統領が訪日したときは破格のおもてなしがあったりとか安倍総理とトランプ大統領、個人的な信頼関係を築いてきたはずなんですけれども、こうしたところはこうした貿易交渉の場には活かされないものなのではないでしょうか。」

星浩「そうですね、この問題は色々経緯がありましてね、アメリカはその TPP の枠から勝手に出ちゃって、今度、日本とアメリカの二国間交渉になったんですね。二国間の交渉になるとどうしてもアメリカは安全保障だとか北朝鮮問題とかそういうのを絡めてくるので、どうしても日本は譲歩をせざるを得なくなるんですね。ある意味では二国間交渉始まったという段階でこの結末は見えていたということですので、まあやはり日本としては多国間の貿易、自由貿易が大事なんです、と。二国間交渉ばかりやるのは問題ですよ、と釘を刺す場面があってもよかったと思いますね。」

小川彩佳「そうですね、そしてそもそも、アメリカは一旦合意していた TPP を一方的に抜けて、そして結果的に TPP よりも得をするということになった、これについては TPP 参加国からは不満も出てきますよね。」

星浩「そうですね、非常に苦勞をしてまとめただけにですね、何でそのアメリカだけがいいところだけ取るんだという不満がものすごい強いんですね、まあその多国間交渉による自由貿易を求めている国はいっぱいありますので、安倍総理はそういう声を受けてやっぱりアメリカにやっぱり多国間交渉は大事なんですよ、と、説得する必要はあると思うんですね、かつてその宮沢総理や当時そのクリントン大統領、自由貿易の大事なことを指摘したこともありまして、やはりその国際社会、外交では筋を通す、原則論を貫くということも時には必要だということだと思いますね。」

このトピックについて当てられた時間は 819 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・小泉環境大臣の発言：結論→特に問題なし

小泉環境大臣の発言について以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

"ナレ「家畜が地球温暖化に大きな影響を与えているという国連などによる指摘。小泉環境大臣が毎日でも食べたといったステーキと地球温暖化対策について大臣としての考え方を聞きました。」

小泉環境大臣「私は今質問されてありがたいなと思ったのはこうやってステーキと気候変動、この質問って今までなかったと思いません。なのでこれがまずニュースになるんだしたら、それだけでも日本の中でもこの環境問

題っていうのを考えるいいきっかけになるなと思いますね。」

記者「温室効果ガスを削減するという環境省のトップとして大臣としてどういうふうにお考えになりますか、そのお肉を毎日でも食べたいとおっしゃっていたことと。」

小泉環境相「毎日でも食べたいということは毎日でも食べているというわけではないです。でも、好きなもの食べたい時ありません？」

記者「そういうことを聞いているのではなく、大臣としての整理のことをどういうふうと考えられているのかということですか。」

小泉環境相「じゃあ、みんなにばれないようにステーキを食べている方が嘘くさくないですか？」

ナレ「外交デビューの場でこの発言も注目されました。」 "

"小泉環境相「気候変動のような大きな問題に対処するには、楽しく、クールに、そしてセクシーでなければならぬ。」

ナレ「一方で具体的な政策については。」

記者「石炭は地球温暖化の大きな原因の一つ、日本はどのような方針ですか。」

小泉環境相「減らします。」

記者「どのように」

小泉環境相「・・・・・・、私は先週就任したばかりです。我々は環境省にとどまらず、政府として減らそうと話合っています。」

ナレ「気候行動サミットでは小泉大臣が登壇することではなく、77カ国が表明した2050年までに温室効果ガス排出を実質ゼロにするという目標にも日本は加わりませんでした。気候変動への取り組みはセクシーであるべきという手腕が改めて注目されます。」 "

VTRを受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

"小川彩佳「とにかくこの数日の外交デビューでは小泉大臣の一举手一投足が注目されました。特にあのセクシー発言を巡っては国内外で様々な反応が出ていますけれども、皆さんはどう捉えていらっしゃるんですかね。」

山本恵里伽「はい、今日はですね、ニュース23の定番コーナー街の皆さんに意見を伺う異論反論オブジェクションの形で聞いてみました。小泉環境大臣のセクシー発言について異論反論」 "

山本キャスターのコメントをうけて以下に朱記したVTRが取り上げられていた。

"男性A「軽すぎるな。」

女性B「フランクな姿勢のほうが、事件的にもなんの知識がない人も逆にこう気になって気にするようになるかなって私は思いました。」

女性C「政治家としてはもう少し具体的ななというかわかりやすい言葉でいうべきではないかなと。」

女性D「小泉さん勉強してください、期待してます。」

オーストラリア人男性E「セクシーは性的な言葉ではあるが現代的な表現としても使う。」

インドネシア人女性(オーストラリア在住) F「食べ物、人、もの、出来事に対しても使う。」

インド人女性G「意図は良かったけど言葉の使い方がふさわしくなかった。政治家なんだからこの問題と向き合って適切な言葉を使うべきだったのでは。」

イギリス人男性H「環境問題の話で使う言葉じゃない。」

アメリカ人男性 I 「気候変動は世界にとってとても重要で真面目な問題です。冗談で使うべきじゃない。これは私達の子供、孫に関わる大切なことなんだから。」 "

街の声を取り上げた VTR を受けて以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

"小川彩佳「本当に賛否両論ありましたけれども、セクシー発言もそうですし、ステーキ発言もそうですし、小泉大臣はこの賛否の否の部分は余り意識されていなかったとか、こうした反響が出るということを想像されていなかったんじゃないかなというふうに感じますよね。」

星浩「特にいま、地球温暖化問題を議論しているニューヨークですから大きな反響になったのでしょうか、ただステーキ発言なんかもそうですけど、本人はなんの気なしで言ったことでも環境問題で本気に取り組んでいる人を傷つけるっていうようなこともありうるわけですよ、立場によって受け止め方は様々ですし、政治家によくあるんですけども、自分の思いを伝えればいいということだけではなくてね、やはり人々がどういうふう to それを受け止めるかっていうことも考えて発言しなくてはいけないということをおそらくこれ小泉さん、初めて痛感したんじゃないかなと思いますね、この経験がこれからも大臣としての仕事にどう生きてくるかということですね。」

小川彩佳「かなり、そういうことを想像しながら発言されている人なのかなというイメージはありましたけれどね。」

星浩「まあでもやはりね、その反響がやはり大きかったということにはちょっと本人も戸惑っているようですね。」 "

このトピックについて当てられた時間は 477 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・トランプ大統領弾劾に向けた調査：結論→特に問題なし

山本キャスターが「アメリカのトランプ大統領の弾劾に向け正式な調査を始めると野党側が発表しました。問題となっているのはトランプ大統領が野党民主党の大統領候補の一人バイデン氏の調査に協力するようウクライナに圧力をかけた疑惑、民主党はこの疑惑をめぐりトランプ大統領の弾劾に向けた正式な調査を始めると発表しました。」と伝えていた。このトピックについて当てられた時間は 90 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・石崎議員を書類送検：結論→特に問題なし

ナレーションによって「自民党の石崎徹衆院議員から暴行を受けたとして元秘書の男性が被害を訴えていた問題、新潟県警は今日、傷害と暴行の疑いで石崎議員を書類送検しました。石崎議員は問題発覚後、公の場に姿を見せていません。」と伝えられた。このトピックについて当てられた時間は 23 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・安倍総理がイランのロウハニ大統領と会談：

ナレーションによって「安倍総理がイランのロウハニ大統領と会談しました。サウジアラビアの石油施設攻撃を巡ってアメリカなどがイランを非難する中、安倍総理はイランの名指しを避けるなど、アメリカとの橋渡しも視野に一定の配慮も示しています。」と伝えられた。このトピックについて当てられた時間は 20 秒で放送法上は

特に問題は見られなかった。

- ・ ムンジェイン大統領が米朝協議再開を呼びかけ：

ナレーションによって「韓国のムン・ジェイン大統領はアメリカと北朝鮮に膠着状態にある米朝協議の早期再開を呼びかけました。また、北朝鮮との軍事境界線がある DMZ（非武装地帯）について国際平和地帯に変えたいと提案しました。」と伝えられた。このトピックについて当てられた時間は 20 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・ 日韓経済人会議：結論→特に問題なし

ナレーションによって「日韓関係の悪化により延期されていた日韓経済人会議がソウルで行われました、会議には日韓の企業経営者が参加、経済の相互発展のために両国政府に対話の促進などを求める共同声明を採択しました。」と伝えられた。このトピックについて当てられた時間は 21 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・ 佳子さまが帰国：結論→特に問題なし

ナレーションによって「秋篠宮家の次女、佳子さまが初めての外国公式訪問を終え、帰国されました、11 日間の日程でオーストリアとハンガリーを訪れた佳子さまは両国の大統領を表敬訪問した他、市民とも気さくに交流されました。」と伝えられた。このトピックについて当てられた時間は 20 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・ 池袋暴走事故の遺族らが国交省に要望書提出：結論→特に問題なし

ナレーションによって「東京池袋で乗用車が暴走した事故の遺族らが多発する高齢ドライバーによる事故への対策などを求め、国土交通省に要望書を提出しました、ドライブレコーダーの普及を促すことなども求めています。」と伝えられた。このトピックについて当てられた時間は 19 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特に問題なし

検証者所感

- ・ 日米貿易協定

VTR では牛肉関税引き下げを歓迎する消費者の声も取り上げられており、VTR のバランスは取れていたものと言える。しかし、スタジオの論調は農家の利益の代弁に偏ったものだったと言える。また、政府が牛肉関税について下限について目標を定めるということは、畜産業者の利益のために消費者の利益を犠牲にするということでもあるが、そもそもこうした目標設定の是非については触れられていなかった点も残念である。

- ・小泉環境大臣の発言

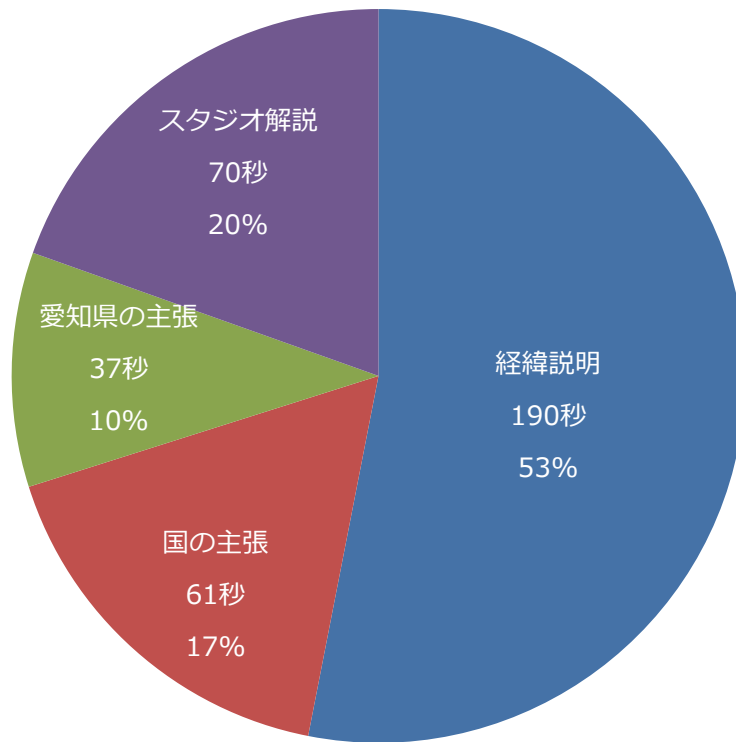
小川キャスターは「とにかくこの数日の外交デビューでは小泉大臣の一挙手一投足が注目されました。」とスタジオで発言していたが、小泉大臣の一挙手一投足をニュースとして取り上げてきたのはメディアであるのに「小泉大臣の一挙手一投足が注目されました」といかにも他人事であるかのようにコメントするのはいささか白々しいのではないだろうか。

自分たちで注目し、一挙手一投足をニュースとして取り上げておきながら、スタジオでは「一挙手一投足が注目されました」とコメントするなどというのは、マッチポンプ、自作自演と言われても仕方のない報じ方なのではないだろうか。

また、「毎日でもステーキを食べたい」という発言が地球温暖化との関係で批判されるということ自体が、検証者には「セクシーではない」ように感じられた。そうした環境のためには好きなものを我慢して、というような禁欲的なやり方では長続きしないだろうし、QOLという観点からも望ましくないのではないだろうか。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送：2019年9月26日
出演者：【キャスター】小川彩佳、山本恵里伽、星浩、石井大裕		
検証テーマ：あいちトリエンナーレ問題、日米貿易交渉、香港問題		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空港でナイフ持ち込み 混乱発生 ・あいちトリエンナーレ問題 ・倒れた鉄柱撤去問題 ・伊勢湾台風の記録 ・保育園児 16 人死傷問題 ・newstories <ul style="list-style-type: none"> 日米貿易交渉 香港問題 日本郵政が NHK に抗議 シラク元仏大統領死去 山梨女児行方不明問題 貴の富士に引退勧告 ・スポーツ報道 ・#異論反論 objection 「ポイ活」 ・天気予報 ・世界陸上 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいちトリエンナーレ問題→結論：複数の放送法第四条の見地から問題あり。 <p>今回は、表現の不自由展で話題を呼んだあいちトリエンナーレについて、文化庁が交付金を支給しないという異例の決定を下したことが報じられた。今トピックに充てられた報道時間は358秒で、経緯説明・国の主張・愛知県の実情・スタジオ解説に焦点が当てられる内容であった。それぞれの時間配分は以下の通り。</p>		



報道の内容は以下の通り。

小川「表現の不自由をテーマにした企画展が中止になった問題が再燃しています。文化庁は愛知トリエンナーレに交付する予定だった補助金を払わないという異例の決定を今日下したのです。愛知県は猛反発していて、裁判で争う構えを見せています。」

ナレーター「今日午後、萩生田大臣は臨時の会見で。」

萩生田文科相「あいちトリエンナーレの補助金は交付しないと決定しました。」

ナレーター「文化庁今日、あいちトリエンナーレに対し、採択していた補助金およそ 7800 万円全額を交付しないと発表しました。異例の決定に愛知県側は猛反発しました。」

大村知事「正直言って驚きました。一方的に不交付が決定されることについて、我々としては承服できない。」

ナレーター「発端となったのは慰安婦を象徴する少女像などを展示した企画展、表現の不自由展。」

抗議電話の音声「慰安婦なんて出すんじゃないわよ。」「そういったご意見は。」「ご意見じゃないの、これは忠告。」

「あんた馬鹿じゃないの。」「日本をなめているような像をいけしゃあしゃあと展示しているこの。トリ、なんとか、トリエンナーナ？ばかじゃねえか。国民をなめているとしか言いようがねえよ。」

ナレーター「事務局には抗議や脅迫の電話が相次ぎ、開幕から 3 日で企画展は中止に追い込まれました。愛知県が設置した有識者による検証委員会は、昨日の中間報告で。」

検証委員会「電話攻撃や脅迫で、中止に追い込むことができるという前提を作ってしまう。」

ナレーター「こう強調したうえで、電話による脅迫や攻撃からの安全確保することなどを条件に挙げ、条件が整

い次第速やかに再開すべきと提言しました。これを受け、大村知事は。」

大村知事「『表現の不自由展 その後』は再開を目指したい。」

ナレーター「こう、再開を目指す方針を示していましたが、翌日の今日、文化庁が補助金を交付しない、異例の決定をしたのです。その理由について文化庁は。」

文化庁「愛知県が会場の安全や運営を脅かすような重大な事実を認識していたのにも関わらず申告しなかった。」

ナレーター「などと説明しています。」

萩生田文科相「愛知県側では、4月の段階で会場が混乱し、展示を続けられないのではと警察当局と相談をしていたらしいのですが、文化庁にはそういった内容が全く来ていなかった。」

大村知事「彼（萩生田氏）は事実を誤認していると思います。4月の段階で愛知県庁がこの状況を知って、警備の相談をしていると、そんなことはない。我々としては速やかに今回の決定については、ただしていかなければならない。法的措置を講じたい。裁判で争いたい。」

ナレーター「大村知事は表現の自由の重大な侵害だとして、法廷で争う姿勢です。」

萩生田文科相「（検閲にあたるという意見もあるが？）何の検閲ですか。今後も芸術展を色々なところでやるといいます。申請通りに出していただいて、それを実現していただければ補助金はきちんと支払うことになる。検閲には当たらないと思います。別に、中身については文化庁は関与していません。」

ナレーター「今回の決定に専門家は。」

木村草太教授（首都大学東京）「今回の打ち切りの理由は、脅迫を受けたから打ち切るという内容です。脅迫をした側が加害者で、トリエンナーレはあくまで被害者です。ですから、今回の文化庁の判断は加害者の立場に立って、被害者に追加攻撃を加えるものになっているように思われます。」

小川「補助金も不交付という異例の展開となりましたけれども、愛知県側は裁判で争う構えということで、今後も論議が続くそうですね。」

星「今回、主催者側は警備の詰めをしていなかったとかわきが甘いことは確かだったんですけども、一方今文科省は展示の内容そのものではなくて、手続きに問題があったから不交付にしたんだというんですけども、全体としてはこの催しに対して不交付にしたんだと受け止められますよね。」

小川「そういう受け止めをされかねないですよ。となるととがった展示を最初から控えてしまうとか、表現の萎縮だったり、それこそ表現の不自由につながりかねないとも感じてしまうんですけども。」

星「今回は、脅迫によって中止したんですよ。今回の不交付という措置は、脅迫した側を勢いづけるというのは可能性ありますよね。ですから、脅迫はいけないんだということを萩生田さん含めて、政府側もきちっと確認したうえで議論をすべきだと思いますね。」

時間配分の中でも、「国の主張」と「愛知県の主張」を比較すると、「国の主張」に比較的時間が割かれていることが分かる。これは政治的公平性から外れており、放送法第四条の見地から問題がある。

また、時間配分以外にも問題が見られた。今トピックではスタジオ解説の中で小川キャスターが「そういう受け止めをされかねないですよ。となるととがった展示を最初から控えてしまうとか、表現の萎縮だったり、それこそ表現の不自由につながりかねないとも感じてしまうんですけども。」と発言している。今回の文化庁の措置は、あくまでもお金を支給するかしらないかの問題であり、表現の内容に関わるものではない。今回の措置で表現が萎縮するとすれば、それは表現者側の問題であって、政府の問題ではない。小川キャスターの発言は問題の

NEWS23 週刊報告 詳細版

矛先をむやみに政府に向けるという意味で誘導性を感じさせるもので、事実とは異なるものであると思われる。これは悪質な印象操作であり、放送法第四条第一項第三号「報道は事実を曲げないですること」に違反している。

・日米貿易交渉→結論：放送法第四条の見地から問題なし。

今回は日米貿易交渉がまとまり、関税についての条件がまとまったことが報じられた。今トピックに充てられた報道時間は 70 秒で、経緯説明のみの内容であった。

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

・香港問題→結論：放送法第四条の見地から問題なし。

今回は香港問題について、香港政府の林鄭月娥行政長官と市民側とで初めて話し合いの場が開かれたが、市民側の要求が退けられ、混乱が継続する模様であることが伝えられた。今トピックに充てられた報道時間は 33 秒で、経緯説明のみの内容であった。

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし。

検証者所感
特になし。